

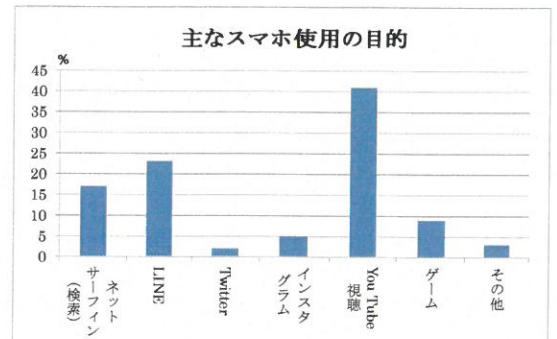
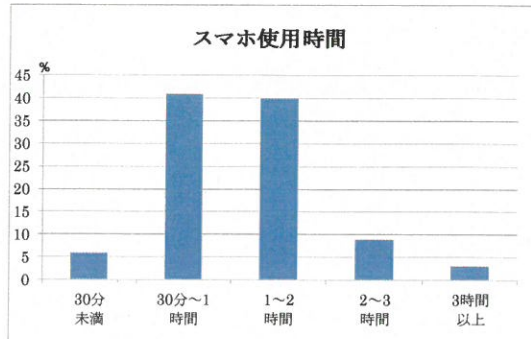


スマートフォンとスマートに付き合おう！

先日、第2回生活実態調査を行いました。その中でスマートフォンについての調査項目がありました。その結果をまとめたものが以下のグラフです。

これを見る限り、1年生全体のうちの約半数は1日のうち1時間以上スマホを使用していると認識しています。(中には3時間以上も)

次に主な使用目的を見てみると圧倒的に YouTube 視聴が多く、次に LINE の使用が多いこと



が分かります。スマホはとても便利なツールで、ちょっと調べ物をした時にもすぐ検索することができたり、アプリの中には学習支援のものがあったり、YouTube の中でも学習のポイントを解説してくれるような動画がたくさんあります。今回の調査では、使用目的の細かい部分までは聞いていないので実際みんながどんな使い方をしているかは分かりません。しかし一方で、東北大学の脳科学者 川島隆太先生が発表した「スマホの使用時間と学力」に関する気になる意見もあります。これには賛否両論ありますが、いずれにしても勉強している時にスマホが手元にあり、LINE のメッセージが来ているかどうかはすごく気になるとか、ちょっとの気晴らしのつもりで見始めた YouTube が気付いたら1時間越えなんていうことに心当たりのある生徒は、この辺でスマホとの付き合い方を考え直す必要あると思います。上手に使えばとても便利なスマホ、ぜひスマホとの付き合い方をスマートにしていきましょう。



【11月の予定から】

○2年次履修科目の本登録

11月9日が登録の最終締め切りです。期限までに提出できるよう、何か分からないことや相談したいことがある場合は、大至急各担任の先生に相談してください。

○最終下校時刻が18:30になります

11月から最終下校時刻が早くなり、部活動等による延長申請が認められた場合でも **18:30完全下校**となります。この時間には、学校の敷地外に出て、速やかに帰途につくことになっています。朝夕の寒さとともに、日が暮れる時間が早くなってきました。登下校時の安全については細心の注意を払ってください。

*夕暮れ時は自転車のライトを早めに点灯する。

*制服の色は暗く自動車から見えにくいため、反射材などを活用し自分の存在を周囲に知らせること。

○「冬服期間」(11/1~4/30)になります

登下校の際は、上着(冬服)を必ず着用してください。また、女子生徒は、ネクタイまたはリボンを必ずつけてください。

○「山梨県高等学校芸術文化祭」が開催されます

コラニー文化ホールや県立美術館で、発表や作品を鑑賞できます。普段の学校生活ではなかなか接することのない、友人の別の一面や才能に触れることができると思います。ひととき、芸術の秋を感じてみませんか。

○27日(火)から第3回定期試験が始まります

9月末に行われた第2回定期試験では、勉強不足や取り組みの甘さが出た者、苦手科目が足を引っ張った者などが見受けられました。今年度の定期試験も残すところあと2回です。早めに学習計画を立てて、これまでの反省を十分に活かした取り組みとなるよう心掛けてください。

保護者のみなさまへ

先日のウォーキング大会は絶好の秋晴れの元、無事に開催することができました。保護者の皆様にはお忙しいなか御協力を賜りありがとうございました。11月になると朝夕はかなり肌寒く、また日中でも真冬かと思うような寒い日もあります。御家庭でもお子様の体調管理には十分御配慮をお願いします。

【11月の予定】

日	曜	主な行事	日	曜	主な行事
1	木	A 冬服期間（～4/30）	16	金	A 短縮50分授業、大掃除・郊外清掃、生徒協議会
2	金	A 第2回PTA理事会	17	土	土曜講座
3	土	文化の日	18	日	
4	日		19	月	B きずなの日
5	月	B きずなの日	20	火	県民の日、科学探究プログラム（最先端科学技術研修）
6	火	B	21	水	B
7	水	B	22	木	B
8	木	B 第39回山梨県高等学校芸術文化祭グランドステージ	23	金	B 勤労感謝の日
9	金	B 履修本登録提出締め切り	24	土	
10	土	進研記述模試、囲碁選手権会場	25	日	
11	日	囲碁選手権会場	26	月	B
12	月	A	27	火	行 第3回定期試験
13	火	A あいさつ運動（～11/16）	28	水	行 第3回定期試験
14	水	A 第4回マナーアップ運動	29	木	行 第3回定期試験
15	木	A	30	金	行 第3回定期試験

【先生方からの寄稿】

今回は2組の担任・副担任の先生方です。

「選択」

2組担任 渡邊 裕大

高校野球最後の大会に負け、引退が決まった瞬間、なぜか「甲子園に行きたい」という思いが、私の心を埋め尽くしました。このとき、「教員になれば、野球部の指導者となって甲子園に行ける可能性がある」と思い、教員を目指し始めました。「そんな動機で教員を目指したのか！」と誰かに怒られそうですが、当時はその気持ちが本気でした。そんな動機であっても、強い思いであったから、勉強なども頑張れたと思っています。

人生は、「選択」の連続ですが、数学みたいに共通な正解なんてないです。生徒のみんなには、一瞬一瞬で抱いた熱い気持ちを大切に、その気持ちに対して真摯に向き合うことで、悔いのない「選択」をしてほしいです。一つ一つの「選択」が未来の自分を作り上げていくのだとすれば、そんなことが大切なのかなと今思います。いつか来るであろう、自分の死に直面したときに、「悔いのない最高の人生だった」と思えたら、そんな素敵な人生はないでしょう。だから、自分の熱い気持ちに正直に「選択」して行ってください。（ただ親や先生は納得させなければいけないので、そこは頑張ってください。）

さて、晴れて教員になった私ではありますが、正解かどうかは分かりませんが、少なくとも後悔はありません。今は毎日がとても楽しいです。「西高一年生でまだまだ未熟者」という意味では、一年生のみんなと同じです。学校のことも社会のことも、数学も野球もまだまだ勉強中です。しかし頑張れます。それはもちろん一年生のみんなが頑張っていることも影響していますが、あとき後悔しない「選択」をしたからなのかなと思います。

「正しい場所で、正しい方向で十分な量なされた努力は裏切らない」誰かが言っていました。正しい「選択」をしたら、さあ、あとは頑張っていくだけです。生徒ともに頑張っていきたいと思います。自分の人生は自分でしか完成させることは出来ません。

「深く考えること」

2組副担 清水 真澄

大学入試改革をはじめ、これからの時代を生きる人間として、深い思考力、問題解決力が求められるようになっていきます。そんな中、仲間と協力しながらより深い思考と明瞭な表現が求められる、「山梨県第3回ディベート大会」が開催されました。本校1、2年生の雄志9名が健闘、惜しくも上位入賞を逃しましたが、3位と僅差の優秀な成績でした。

この大会は実は4回目になるのですが、最初はプレ大会ということで数に入っていません。プレ大会において本校は2位入賞を果たしました。当時出場者は全員1年生でしたし、指導者である私も全くの経験なしだったのですが、ビギナーズラックだったのかもしれないですね。しかしながら、いずれの回においても言えることは、リサーチを重ねながらメリット、デメリットを洗い出すことで、論題について深く思考し、問題点を掘り下げることができたということです。

今回の論題は“Japan should legalize voluntary active euthanasia.”（日本国は、本人の意思による積極的安楽死を合法化すべきである。是か非か。）でしたが、物事にはすべて利点と欠点があります。両方の視点から考えることで、参加者生徒全員が第一印象を超える見解を得ることができたと思っております。そこにディベートを行う意義があります。これまでも「日本国は移民を受け入れるべきか。」、「18歳選挙権を導入すべきか。」、「ベーシックインカムを導入すべきか」などといった身に迫る近未来の政治的論題に取り組んできました。こんな機会でもなければ考えることもなかったかもしれませんが、どれも重要なテーマです。

英語で行うディベート、さぞかし大変だろうと思いますよね。その通り。苦闘の毎日でした。ウォーキング大会の後も、土講の午後も、時間を忘れ、皆でとことん調べ、考え、迷い、悩みました。そして知らない間に思考力と英語力の土台が育っているのだと確信しています。この効果は徐々に現れてくるでしょう。

ちなみにみなさんはどんな意見ですか？エビデンスを添えて聞かせてください。